

令和2年10月20日開催

# 教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和2年10月20日(火)  
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和2年10月20日(水)  
午後2時06分
- 3 招集の場所 ハピネスふくちやま(第1会議室)
- 4 出席委員の氏名 端野 学  
塩見 佳扶子  
和田 大顕  
加藤 由美  
織田 信夫
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの  
教育部長 前田 剛  
教育委員会事務局理事 廣田 康男  
次長兼教育総務課長 牧 正博  
次長兼学校教育課長 崎山 正人  
学校教育課総括指導主事 新井 敏之  
学校給食センター所長 村瀬 勝子  
生涯学習課長兼中央公民館長 八瀬 正雄
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者  
次長兼教育総務課長 牧 正博

7 議事及び議題  
別添のとおり

8 質問討議の概要  
別紙会議録のとおり

9 決議事項  
なし

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長 .....

福知山市教育委員会 委 員 .....

福知山市教育委員会 委 員 .....

福知山市教育委員会 委 員 .....

福知山市教育委員会 委 員 .....

教育委員会会議録調製者 教育部長 .....

# 教育委員会会議録

## 1 開会

端野教育長が開会を宣告。

端野教育長 現在のところはありませんけれども、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 許可をさせていただきます。

## 2 前回会議録の承認

端野教育長 前回の会議録については、異議ありませんでしょうか。

全委員 異議なし。

端野教育長 それでは、異議がなければ承認をお願いします。  
あとで会議録に署名をお願いしたいと思います。

## 3 教育長報告の要旨

端野教育長から以下の報告がありました。

### (1) 教育委員の再任

和田大顕委員 3期目 令和2年10月4日～令和6年10月3日まで

1点目につきましては、和田委員がこの10月4日から3期目で、令和6年の10月3日までお世話になります。

### (2) 令和2年度 全国公共図書館協議会表彰の受賞（府内から4名・本市 初）

#### ア 受賞者

(ア) 谷垣修身氏（福知山市立図書館協議会委員長） 32年間

昭和61年6月1日～ 福知山市立図書館協議会委員

平成18年6月1日～ " 副委員長

平成26年6月1日～令和2年5月31日

" 委員長

平成18年7月6日～平成20年3月31日

福知山市立図書館基本計画策定委員会委員

第1次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員

(イ) 仲野恵子氏（福知山市立図書館協議会副委員長） 22年間

平成9年6月1日～ 福知山市立図書館協議会委員

平成26年6月1日～ 現在

" 副委員長

平成18年7月6日～平成20年3月31日

福知山市立図書館基本計画策定委員会委員

第1次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員

平成28年3月 第2次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会副委員長

(ウ) 表彰伝達式 令和2年10月19日(月)10時～ 教育長室

2点目につきましては、谷垣修身様と仲野恵子様のお2人が全国公共図書館協議会表彰を受賞されました。昨日10時から教育長室で受賞の伝達式を行い、表彰状をお渡しさせていただきました。図書館協議会の役をお世話になり、また新しい図書館がオープンをする、そのあたりのさまざまな市民としての御意見など、いろいろとお世話になって現在の図書館があるという状況であります。谷垣様はもう退任をされているわけですが、仲野様については、現在、協議会の副委員長としてお世話になっています。第3次の読書活動の計画等についても関わっていただきます。お2人とも、図書館に関しての熱い思いを聞かせていただきました。

(3) 全国大会出場者 (激励会 10月13日)

○佐々木菜摘(なつみ) 桃映中学校3年生

- ・女子走り高跳び 1メートル61 (全国ランキング8位) 全日本通信陸上競技大会)
- ・10月18日(日) ジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020(横浜)
- ※他に JOC ジュニアオリンピックカップ全国高等学校陸上競技大会2020(広島)
- ・男子円盤43m57・やり投げ60m21 足立琉希(りゅうき) 京都共栄学園高校3年
- ・男子砲丸投げ15m25 細見明也(めいや) 京都共栄学園高校3年
- ・女子800m 川尻萌愛(もえ) 福知山成美高校2年
- ・女子1,500m 3,000m 橋本充央(みお) 福知山成美高校3年

3点目につきましては、コロナ禍で大会が全部中止、または中止となっている中で、唯一全国大会が開かれ、桃映中学校3年生の佐々木菜摘さんが女子の走り高跳びで1m61cmを跳び、今度、横浜でジュニアオリンピック全国中学生陸上競技大会に出場します。併せて高校生も同席をしまして、京都共栄学園高校3年生の1人と福知山成美高校の2年、3年のお2人が投てき種目、それから女子の800m、1,500m、3,000mの中長距離で出場をされました。

(4) 令和2年度事業計画(重点施策) 上半期進捗状況

ア 教育総務課

(ア) 大江地域学校統合整備事業

令和3年4月の大江地域小中一貫教育校開校に向け、令和元年10月から校舎増改築工事に着手し、令和2年10月末の完成をめざし工事を行っている。

また、スクールバスの乗降場、駐車場は年度内完成見込み。テニスコート等の整備も行っている。

(イ) 六人部小学校統合整備事業

令和元年10月から着工、令和2年7月完成し、2学期から供用開始している。

(普通教室2教室、給食配膳室、児童用玄関)

(ウ) 昭和小学校施設増改築事業

老朽化した家庭科室、並びに給食配膳室の課題解決を図るとともに、今後の児童数増加を見据え、教育環境を整える。

家庭科室、給食配膳室整備工事の業者が決定し、11月着工、今年度未完了予定。

(エ) 小学校教室棟便所改修事業

便所の老朽化と生活環境の変化に伴い、洋式便器の設置等実施した。

本年度実施の庵我小学校便所改修工事です。

(オ) 福知山市教育情報化整備事業 ※ GIGA スクール構想

学校教育の情報化を推進するため、児童生徒一人一台のタブレット PC 等の整備と、そ

れが機能する高速大容量ネットワークの整備及び情報機器類の整備を行う。  
令和5年度に達成するとされていた整備が前倒し、本年度末までとされた。

(カ) 中学校教師用教科書・指導書購入事業

教科書改訂に伴い、教師用教科書及び指導書を購入する。

イ 学校教育課

(ア) 本市の次期教育計画「響プラン・F」の策定

公立大学准教授、市立学校校長、園長代表、保護者代表、市民代表等により組織する検討会議（第1回 7/17、第2回 9/24）を開催し、プランの構成や内容について検討を進めている。

11月末までに拡大検討会議を行い、11月中に内容の検討を終える予定。その後は、議会や教育委員、市立学校・園長への説明や概要版の作成に当たる。

(イ) 学校経営の検証と評価 「学校評価」「学校評議員制度」

施設一体型小中一貫校や一小一中分離型小中一貫校については、コミュニティスクールの開設を検討している。

(ウ) 情報教育の推進 (ICTの活用・プログラミング教育)

学習指導要領改訂に伴い、本年度から新たにプログラミング教育が必修化された。

2年前（H30）より予算化の中、試行・検証を重ね、指導計画や指導案作りを進めており、2年間の研究成果に基づいた実践が進んでいる。

さらに、児童生徒一人一台のタブレット PC等の整備の前倒しにより、「福知山ならではの教育の充実のため、福知山公立大と連携し、AIを搭載した学習ソフトの選定や蓄積されるデータを活用した分析・研究を進める「福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト」に取り組んでいる。

(エ) 学力向上定着事業

「基礎・基本の定着指導」「家庭教育への支援」を実施している。なお、「小学校での補習学習への公立大生サポーター配置」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見合わせている。

(オ) 保幼小中一貫・連携教育(シームレス学園構想)の充実

9中学校ブロックにおける「効果のある学校」づくりの取組、異校種間の連携（保幼小中一貫・連携による交流等）、指導者や指導内容、カリキュラムについての交流・連携などを進めている。

ブロック毎にブロック校長会と市教委連携のもとシームレス学園推進会議を開催し、進捗状況の共有を図っている。「保幼小中一貫・連携教育(シームレス学園構想)」については、施設一体型(夜久野学園、三和学園、大江学園)をはじめ、すべての市立学校が近隣の小中学校と連携して、教育課程の中で連携・一貫した組織、教育指導方法、教育内容等のもと取り組んでいる。

(カ) 教育研究・教育指導

○学校教育振興会研究部活動への支援→ 教職員の主体的な活動への支援

○教育実践論文「けやき賞」の作成→ 隔年開催、幼小中5名 各自執筆中

○研究指定校事業・課題別研究開発指定校の推進 → 先を見通した研究活動

○全国家庭科教育研究大会に向けて 期日令和4年11月11日（金）

(キ) いじめ・不登校の克服

いじめ防止対策推進法（H25）の施行に伴い、京都府いじめ防止基本方針、福知山市いじめ防止基本方針、更に各市立学校に義務付けられた各校いじめ防止基本方針を策定している。推進体制は市として「福知山市いじめ問題対策会議」、教育委員会として「いじめ防止対策推進委員会」を組織している。

各学校では、日常的な児童生徒の状況把握、いじめを未然に防止する学級経営の工夫、「いじめ見逃しゼロ」に向けた取組を進めている。

市立学校での重大ないじめ事象は発生していない。

「いじめ防止講演会」 令和2年12月22日(火) ハピネスふくちやま

講師 篠原 嘉一 氏

(ク) 特別支援教育の充実

特別支援学級は16小学校のうち15校、9中学校のうち7校に設置。小学校では合計29学級、196名の児童、中学校では13学級、80名の生徒が在籍している。

(令和2年5月1日現在)

《障害種別》全42学級

知的 小18・中7学級

情緒 小10・中5学級

弱視 小1学級

肢体 中1学級

《一人学級》全10学級

小6(知3 情2 弱視1)

中4(知1 情2 肢体1)

(ケ) 人権教育の推進

○人権教育推進計画に基づき、学力充実、希望進路の実現に向けた取組

○人権が尊重される学校づくりと差別解消に向けた法律の趣旨を踏まえた教職員研修を実施している。

(コ) 学校保健・学校安全の充実

○教職員の健康管理 → 上半期教職員健康診断実施済

○児童生徒の健康管理 → 9月から児童生徒各種健康診断実施中

○通学路の安全、学校設置のAEDの維持管理 → 通学路安全対策会議(書面開催)

○子ども安全対策連絡協議会との連携 → 幹事会・総会(講演会含む)の実施

○学校保健事業の実施→学校保健会の取組(府・市研究大会中止・理事会書面開催)

(サ) 就学援助

○要保護、準要保護、特別支援教育就学援助費の支給 → 要保護×1.3

要・準要率→小学校 13.3% 中学校 14.2%(令和2年9月1日現在)

(シ) 体育・文化の振興

○中学校体育活動補助(コロナ中止のものあり) …補助金交付は実施予定

○中学校音楽祭支援(コロナ中止)

○学校芸術祭事業支援

「小学校音楽祭、学校・園美術展、下村脩グランプリ」(コロナ中止)

(ス) 労働安全衛生管理体制

○連携各学校に衛生推進者の任命及び講習会の受講、研修会の実施

○教職員健康相談体制の整備(医師等の面接相談) 80時間超

○勤務時間の縮減への取組(早退勤デー、ノー部活デー、タイムカードによる勤務時間把握、電話対応、健康管理)

○「市立学校教職員の勤務時間の上限に関する方針」の策定 令和2年3月

○今後、「一年単位の変形労働時間制」の在り方について検討

休日のまとめ取りをすることで休暇を取得しやすくし、効率的な働き方を目指すものであるが、導入に際しては1年間の計画を立て、総時間の上限を厳守する必要がある、現時点では現実的ではない。

「繁忙期の勤務時間を長くすることは、長時間労働を容認することになる。」との意見もある。

(セ) 食育の推進

○各学校での指導 ※食物アレルギー 小7.6% 中7.3%

○アレルギーへの対応→「除去食」(卵) エピペン対応者 5小12名、3中5名

「卵除去食以外の給食」の研究困難

○地域と連携した食の体験活動 → 連合婦人会と連携(今年度はコロナにより中止)

(ソ) 防災教育の推進

○「自らの命は自ら学ぶ」児童生徒の育成

- 小学校全校で夏休み前に防災教育授業を実施
- ウ 生涯学習課
  - (ア) 生涯学習の推進
    - 成人式事業
      - ・コロナ禍での制限の中、開催予定 令和3年1月10日(土) 14時開会  
市長(式辞)、議長(祝辞)、教育長(閉会)のみ  
来賓、保護者入場なし
    - 公民館活動の推進
      - ・6月29日(月)  
令和2年度福知山市教育委員会感謝状贈呈式 対象者：4名  
第1回公民館連絡協議会役員会開催
      - ・第1回公民館連絡協議会(中止)
      - ・公民館対象の研修会については、全国規模のものは、来年度に延期。
      - ・例年7月に開催される「社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会」については、12月に動画配信による視聴研修の予定。
  - (イ) 共に幸せを生きる社会の実現
    - 人権教育の推進
      - 人権問題の正しい理解と実践につなぐ学習活動の推進  
(学校、社会教育団体、公民館、企業等との連携による。)
    - 障害者教育の推進
      - ・障害者青年学級の開講  
6月に開講式を実施。10月より6回開催予定。
      - ・視覚障害者成人講座の開講 3回予定
      - ・聴覚障害者成人講座の開講 3回予定
  - (ウ) 家庭・地域社会の教育力の向上
    - こだま教育推進事業
      - ・心の教育実践活動、掲示教育、挨拶運動(11日)
      - ・標語・作文募集  
1園、13校より応募があり、合計1,959作品が集まる。  
今後、こだま教育研究員により作品を選定し、作文集を作成予定。
    - PTA連絡協議会
      - ・コロナにより中止・延期
    - 地域未来塾開講事業
      - ・市立9中学校で開講。4名のコーディネーターと、のべ83名の支援員で支援を行う。
      - ・開講日数予定：約30回
      - ・受講生徒数：105人(前年度：101人)
    - 放課後児童クラブ運営事業 16クラブ(市直営12+委託1+地元運営3)
      - ・令和2年8月1日現在の登録児童数は1,281人で、指導員数は116人。
      - ・放課後児童クラブに従事していただいた指導員(154人)に対して慰労金の支給を予定しており、支給については、11月下旬頃を予定。
  - (エ) 青少年健全育成事業
    - 少年補導センター運営事業 ※京都府内には「宇治市」「舞鶴市」「福知山市」「福知山市少年補導センター」は昭和47年4月に発足、昭和52年4月に市長部局から教育委員会に移管、平成18年1月1日一市三町合併、少年補導員定員が100名に改正。  
少年補導員の任期2年間、教育長委嘱による。  
活動結果(R元) → 活動回数266 活動人数767 注意・指導件数42

○第61回青少年健全育成大会→中止。

青少年健全育成活動推進者表彰式については、10月23日（金）に開催予定。

表彰者：非行防止（少年補導委員）4名、青少年登下校時指導・見守り5名

青少年スポーツ指導2名、その他健全育成（ガールスカウト）1名

計12名

#### エ 学校給食センター

(ア) 学校給食管理運営事業

○ 受配校 福知山 22校 6,600食

大江 3校 300食

○ 年間給食実施回数 186回(週5回→米飯4回、パン1回)

小・低学年 258円 小・中学年 261円 小・高学年 264円

中学生 289円

○ アレルギー対応除去食の実施（卵） 小29食 中7食 計36食

○ 給食費の公会計化の研究を進める。

(イ) 学校給食センター統合事業

○ 大江給食センター施設統廃合に伴い、福知山センターの食数増に対応するための改修工事を進めている。

(ウ) 安心・安全まちづくり推進事業

給食配送車(10台)にドライブレコーダーを取り付け、安全対策、防犯対策を図る。

現在7台に設置、11月末には完了予定

#### オ 中央公民館

(ア) 中央公民館、地域公民館事業

○ 地域公民館施設改修事業

○ 公民館講座

新型コロナウイルス感染予防の観点から一部の講座について中止、延期したが、手指や器具の消毒徹底、検温、募集定員を減してソーシャルディスタンスの確保等感染要望対策を施したうえで6月より各公民館主催講座を実施している。

(イ) 市民交流プラザふくちやま管理運営事業

「市民交流プラザふくちやま・福知山市立中央公民館」について Web 予約システム（京都府市町村共同公共施設案内予約システム活用）の運用開始に向けて準備を進めている。

11月1日から施設空室状況の閲覧を開始し、Webによる施設予約は、4月1日より開始する予定である。

(ウ) 北陵地域公民館整備事業

平成30年7月 法面崩落 → 北陵総合センター指定管理解消、こぶし荘宿泊機能廃止、地元要望 → 公民館新築を計画 令和元年7月 「太陽光パネル」設置 → 令和3年度完成

#### カ 図書館 平成26年6月21日 プラザに移転

平成30年6月12日 来館者総数100万人

(ア) 第3次福知山市子どもの読書活動推進計画策定事業 → 策定委員会(7名)を組織

令和2年7月1日～ 令和3年3月31日

(イ) 市立図書館の障害者サービスの向上・充実

障害者(視覚、聴覚、肢体、内臓疾患)への図書貸し出しの宅配事業を計画しており、サービスの対象や内容、事業開始時期等について検討・協議を進めている。

※「暮らしに読書をおうえん事業」コロナ禍での安心・安全な図書の貸し出しサービス。

セット貸し出し用(70セット)の本の選定が完了。

今後、本やコンテナを購入し貸出準備を進めていく。

4点目につきましては、本年度の教育委員会各課の重点施策で、上半期の現在の進捗状況の概要を載せさせていただきました。

教育総務課については、大江地域の学校統合整備事業について、3小学校が統合をして、現在の大江中学校の敷地内に一つの新しい大江小学校が開校します。大江学園という小中一貫教育校を新たに開校させます。校舎建築等も終わり、外構の工事等は、現在工事が進捗中であります。また、新たな課題等も要望事項として聞かせていただいています。

次に、六人部小学校の統合整備事業です。児童数が増加することで、新たにこれまでの玄関に増築工事をし、普通教室2教室、給食配膳室、非常用玄関の工事が完成をしまして、2学期から供用開始をしています。

次に、昭和小学校の施設増改築です。児童数が増加するため、教室棟の後ろ側に畑や駐車場の跡地に新たに校舎が建ち、家庭科室と給食配膳室等を完備した増築工事になります。まもなく着工し、そして今年度末に完了予定であります。

また、小学校の教室の便所改修事業は、庵我小学校が本年度で完了する予定です。

新たな福知山市教育情報化整備事業ですが、GIGAスクール構想として文部科学省が令和5年度までという計画を立てていましたが、前倒しになり、この教育総務課関係について、高速大容量ネットワークの整備や情報機器類の整備をすすめております。

それから中学校の教科書が来年度から変わりますので、教師用の指導書等を購入予定です。

学校教育課関係の10年間の市立学校教育改革プログラムが本年度末をもって終わりますので、新たに来年度から新しい教育計画に沿って福知山市の教育を進めていきます。その「響きプラン」の策定を現在お世話になっています。校長会と園長会のそれぞれの代表、それから保護者代表、市民代表、それに座長と公立大学の先生方に入っていて、現在協議をいただいています。現行構想をもとに細部について練り込んでいただいているところでもあります。来年度実施になりますので、今年度末までに概要版について、また市民や学校等にきちんと説明をしていきたいと思っております。今後、教育委員会議で、最終版については御報告させていただきます。

学校経営についての検証・評価、学校評価は年度末に例年学校から提出していただいています。本市には施設一体型、夜久野学園、三和学園、今度新たに大江学園ができ、それから一つの小学校に1中学校または複数の中学校がある中学校ブロック、この二つの形が福知山市立学校の中では点在をしています。その中での教育に関わっての学校評価、また今度新たに改定版になる、大江地域や川口中学校区で、現在コミュニティ・スクールの構想を練っていただいております。学校においては、これまでどおりの検証と評価を展開していくこととなりますが、検証のための検証、評価のための評価にならないことが大事であると思っております。

それから、情報教育の推進で、教育総務課で申し上げましたが、学校教育課でもプログラミング教育、またタブレットを児童生徒1人1台ということも含めて、福知山ラーニングイノベーション・プロジェクトを組んで、公立大の情報教育の学部とも連携の中で、新たな教育構想、教育の分析も入ってきて、研究を進め準備をし、協議も進めております。

それから、学力向上定着事業があります。これがコロナの関係でできない部分も一部ありますが、基礎・基本の定着、それから家庭教育の支援、それから小学校の補習学習や公立大の学生たちのサポーターの配置で、大きくは3点あります。今年度は若干の不完全さがありますが、こういった形で学力向上定着事業を進めているところです。

大きな福知山の教育の構想計画について、保幼小中一貫・連携教育（シームレス学園構想）の充実、幼児教育と義務教育とのつなぎを、切れ目なく円滑な接続で計画をしたものであります。

それから教育研究・教育指導についてです。一つは、学校教育振興会への支援です。これは、教職員への主体的な活動への支援、金の問題、服務の問題等があり、学校教育振興会は福知山ならではの教育の形だと思っております。

それから教育実践論文「けやき賞」です。これは隔年開催で、本年度執筆をしていただいて、幼小中から5名の先生方に現在作成をしていただいています。

あと、福知山市教育委員会として開発的な指定校を指定して、本年度それぞれの学校で研究活動を進めてもらっています。

令和4年11月11日に、全国の家庭科教育の研究大会が福知山で開催されます。厚生会館か工事の関係で三段池体育館になるのか、厚生会館と惇明小学校と昭和小学校という3会場で行う予定です。

いじめに関して法的に国、府、福知山市、それから各学校、方針なり計画を立てて、いじめ根絶の取組を行っています。この調査も毎年行っていますが、今のところ重大事項、重大事象、重大ないじめ事象については、本年度も発生はしていません。特に、いじめによって長欠、不登校になる可能性が非常に高いですが、現在はありません。そして、いじめ防止講演会で、12月22日の年末に篠原嘉一先生にお世話になる予定であります。

特別支援教育の充実については、福知山市立学校で特別支援学級の状況を少しそこに書かせていただきました。現在、特別支援学級は16小学校のうち15校、それから9中学校のうち7校で、特別支援学級が設置をされています。小学校では合わせて29学級196名、それから中学校では13学級の80名の児童生徒が在籍をしています。これは令和2年5月1日現在です。障害種別に見ますと、全部で42学級あるわけですが、知的で小学校18学級、中学校7学級、情緒が小学校10学級、中学校5学級、弱視が小学校1学級、肢体不自由が中学校1学級、障害種別に見ますとこれだけの学級が設置をされています。その中で1人学級、1人だけの子どもの学級が通じて全部で10学級になります。小学校で6学級、内訳は、知的3学級、情緒2学級、弱視1学級。中学校では4校で、知的1学級、情緒2学級、肢体1学級、こういう内訳になっています。こういう状況の中で特別支援教育を各学校が行っているわけですが、子どもたちの状況については非常に重くなっていたり、大変複雑な絡みがあったりという中で指導が必要になりますので、それぞれ子どもたちの個別の指導計画を立てて、就労まで見通した支援計画も、これは当然必要になっています。各学級でその指導計画と支援計画を立てた中で、学級経営なり指導を行っています。

人権教育の推進については、学力充実と希望進路の実現、これが学校教育の中での最大の目標であります。それと、教職員研修です。差別解消に向けた法律の趣旨を踏まえた教職員の研修です。子どもへの指導と指導者であるわれわれの研修の在り方、これが非常に重要になります。

それから、学校保健と安全については、教職員の健康管理、それから児童生徒の健康管理、そこにコロナ関連で医師会にお願いし、健診をお世話になっている状況です。来年度入学予定の就学時健診についても、遅れていますが、実施中というところであります。

それから、通学路関係の安全とAEDの維持管理等についても、実施しております。特に通学路については、そこに書面開催となっていますが、道路管理者、それから自治会、警察、それからPTAや学校、そういった関係者が集まって、通学路上の安全点検をし、危険箇所については要望をだしたりしてお世話になっています。子どもの不審者への対応等々を含めて、通学路の安全については、保護者と学校は、子どもたちが安全に登下校ができるよう願っています。

学校保健事業については、学校保健会との連携が、府や市、各学校の学校保健会の取組が進んでいます。ただし、そこに書きましたように、これもコロナの関係ですが、中止や書面での開催にならざるを得ない状況でありました。

次に、就学援助については、要保護・準要保護特別支援教育就学援助費の支給が、福知山市については準要保護については要保護の1.3倍で、議会から質問を受けております。その率ですが、9月1日現在、最新の情報では、要準の受けている率が、小学校では13.3%、中学校では14.2%の児童生徒が受けています。

体育・文化の振興については、中学校の体育活動は、コロナ禍で中止のものも中にはあ

り、中学校の音楽祭への支援も中止となりました。小学校についても、音楽祭や学校園美展・下村脩グランプリ等は、本年度はコロナ禍で中止になりました。

労働安全衛生管理体制については、もう働き方の問題で、連携各学校に衛生推進者は、教頭先生の任命になり、講習会や研修会をしています。それから、特に80時間超え、また100時間といった超過勤務のある教員については、医者健康相談を実施しています。これも、忙しい中でこの席になかなか出られないという学校もあるわけですが、極力出席をして、日頃の仕事の仕方等の面談を行うということでもあります。勤務時間の縮減については、現在そこに書きましたとおり、進めています。上限の方針なども策定済みです。1年単位の変形労働時間制の在り方について、国や府や本市と一体となり、今後、検討していくこととなります。

食物アレルギーの各学校での状況ですが、小学校で7.6%、中学校で7.3%の児童生徒が食物アレルギーを持っています。福知山市では卵の除去食の給食献立をやっています。卵以外の給食については、例えば小麦などが該当し、これは献立作成上では非常に難しいことで、現時点では卵のみです。エピペンを持っている子どもは、小学校5校で12名、中学校3校で5名です。

生涯学習課の事業で、成人式は1月10日に制限の中で実施予定です。

それから、公民館活動についても、例年並みとはいかないわけですが、そこに書きましたような形で、講座や研究会を開催の予定であります。

共に幸せを生きる社会の実現、人権教育の推進と障害者教育の推進も、そこに書きましたとおりです。

家庭・地域社会・教育力の向上や、こだま教育、PTA連絡協議会、地域未来塾、放課後児童クラブについても、そこに書いたとおりであります。こだま教育については、教育委員会議で、こだま教育の作文・標語が一部の学校に限られているのではないかという意見もいただいており、今年度初めに学校の校長先生方にもお願いをしています。1園13校、合計1,959作品の応募があり、大変喜ばしい状況でありました。

それから、青少年の健全育成事業については、補導センターについても、そこに書いたとおり、京都府内に宇治市、舞鶴市、福知山市の3市にしか補導センターがないことや、福知山市は、1市3町合併後、少年補導委員が100名以下と改正になったことで、現在それぞれ補導委員にいろいろとお世話になっています。指導件数42件で、昔から比べると町中の子どもたちの様子も若干変わってきたと聞かせてもらっています。それから、青少年健全育成大会の中止です。ただ、今月末に表彰者に対する表彰式のみ執り行う予定になっています。

次に、学校給食センターについては、福知山で22校、大江が3校、合わせて6,900食、7,000食弱の給食を配送しています。アレルギーについては、小学校で29食、中学校で7食、合計36食になります。この給食がよく分かるように工夫してもらっています。それから、給食費の公会計化の研究を現在進めているということです。それから、学校給食センターの大江の統廃合で、福知山センターへの統合ということで、食数増に対応した改修工事も進めています。それから、車にドライブレコーダーを今年度末には配送車に全て完備をする予定です。

中央公民館については、そこに書いたとおりです。

市民交流プラザふくちやまでのウェブ予約システムについて、これの運用開始の準備を進めており、4月から開始する予定です。それから災害で北陵地域公民館の法面が崩れましたが、工事も終了しかけています。そして令和3年度には新しい公民館のみ完成予定となっています。こぶし荘の現在の宿泊施設については、なくなるということでもあります。

図書館については、平成26年6月21日にプラザに移転をして、平成30年6月12日に100万人の来館者を迎え、以後も図書館からの発信が広く呼びかけられました。昨日の図書館協議会の表彰者のお2人とお話をしましたが、今後もさらに図書館の在り方については協議を進めていきます。これからの読書活動や図書館の在り方の協議を進めてい

く必要があるとのことのお話でありました。

現在の進捗であります。

報告事項につきまして、以上であります。御質問、御意見はありませんか。

全委員 特になし

端野教育長 それでは、次に議題に入ります。

#### 4 教育委員会 報告・説明事項

(1) 教育長決裁による後援承認事項について

小笠原教育総務課企画管理係長 ～資料に基づき報告～

No. 1 3 子育てセミナー

No. 1 4 第61回両丹中学校ソフトテニス新人大会

No. 1 5 第34回ソフトテニス日本実業団リーグ

No. 1 6 第17回京都府北部タグラグビー交流会

No. 1 7 親子手話教室

端野教育長 後援承認について御質問や御意見がありましたらお願いします。

全委員 特になし。

端野教育長 承認いただいているということで、事後承認とさせていただきます。

#### 5 閉会

端野教育長が閉会を宣言。